

# 図書委員作成 図書だより 7月号

## 座談会を開きました！！！！

出席者

1年女子:I 2年女子:S

3年女子:H 3年女子:W

S:私の紹介する本は『銀の匙』という漫画です。

この学校の図書室には14巻まであって、私が初めて知ったのは小・中学生の時に映画化されて…。

W:山田君主演だけ？

S:そうなんです。その時は「へえー、映画化するんだー」位で、ストーリーも全然知らなくて。高校に入った時、たまたま図書室にあったのを見て、初めて農業高校がテーマということを知ったんですよ。それで興味がわいて読んでみました。1日2冊読んで1週間で全部読みました。主人公の八軒勇吾君は東京の高校を受験したけどうまくいかず、農業高校に通い始めました。最初はお父さんと確執があったんですけど巻を追うごとに…といった感じで、農業だけでなく人間関係があって素敵だなと思いました。肝心の農業についてなんですけど、作者さんが実際に農業高校に通っていたらしくて、細かいんですよ！ベーコンとかミルクトゥッ(嚙)。

全:笑笑

S:もうやめてください！他にもピザなどの料理を生徒たちが自然のもので作っていて、ほかのグルメ漫画に負けなくらいおいしそうで、すごく魅力的に感じました！ベーコンを作る時に八軒君が子豚を育てて…

H:え、殺すの？

S:そうなんです。そんな描写もあり、命について考えさせられます。キャラクターも

個性的で面白いです。舞台が北海道ということもあって、緑の多い牧歌的な環境も羨ましいです。

H:Sさん、話長い！たくさん話したいなら

「ピプリオバトル」に出て！まあ、そんなことは置いて…私もSさんとおすすめの漫画が同じなので、補足説明を行いながら紹介します。東京で行き詰っていた八軒君が、農業高校に行くことによって友情や日々の生活の楽しさ、怖い父親に隠された優しさを感じられるようになります！次の人！



I:私がお勧めしたいのは『ピアノの森』で

す。主人公は一ノ瀬海君。親がよくない職業で…えっと水商売で…

S:お父さんも？

W:お父さんの水商売って想像もつかなくない？

S:ホスト的なのかなって…。

H:ホストって水商売に入るの？

I:それが理由で、学校でも少しいじめにあっています。海君の家の近くに森があってそこに壊れたピアノがあるんですけど、海君だけが音を出せるんです。学校の音楽の先生の阿字野(あじの)先生が、

そのピアノの持ち主です。そして海君はなんやかんやで、阿字野先生の所に弟子入りしてコンクールを目指す作品です！

W:じゃあ次は私が…私は『ブラック・ジャック』をお勧めしたいです！みんなあらずじや背景は知っていると思うので、お気に入りのお話について説明します。『2人のジャン』という話です。双頭児の話です。頭が二つあって体が一つという感じを想像してもらえればOKです。手術をして普通の人間と同じように頭を一つにするのですが、もちろん切り取られた方の子も生きています。昔のマンガなのに、まるで今を風刺しているようで不思議な感じです。

次は質問タイムにします！

S:『ピアノの森』って結構昔の作品ですか？絵柄のタッチとか…

I:最初に書かれたのは1999年なので、少し古いかもしれませんが、でも完成したのは最近です。

W:もう完結したの？

林:えっと、作者の家族が体調不良により休載中みたいです。

I:主人公に恋人はできますよ！

W:小学生だよね!?

I:大人になってコンクールに出るまで描かれているのでできますけど、そこまで描写はないですね…

S:(銀の匙を見て)ブタかわいい…。

全:それなー！

W:赤ちゃんの頃から育てているのに殺すの？

S:そうなんですけど、殺す直接的な描写はなくて、工場から出てきたら豚肉だったのな…。

H:それでそのお肉を買い取ってベーコンにして食べた。あとは巻の最後のほうにコマ漫画がついているよ！

I:スピンオフ的な…？

H:そうそう。

S:『ピアノの森』の海君のお母さんっていい人なの？

I:読んだ感じでは普通にいい人ですね。

S:じゃあ安泰だね！

I:図書室の漫画って、入学時と比べるとめっちゃ種類が増えたね。

I:『逃げ恥』とかですね。

S:あ、逃げ恥ってもともとハンガリーの諺なの知ってましたか？

H:いや、何の話だよ！

W:『ブラック・ジャック』のシャムの双子の話を探したけど見つからなかったの、次に好きな巻を持ってきました！コインロッカー・ベイビーの話です。なんかもう未来を予言しているかのようで…。

そんな所で今回はお開きです！

全:ありがとうございました！



#### ☆編集後記☆

編集楽しかったです。	3年 S
テスト(´ω´)	3年 F
漫画が読みたいです。	3年 U